

# 島津製作所発の知財革新：Genzo AI が拓く「知財業務の民主化」

大企業の暗黙知を生成AIで形式知化。SaaS形式で提供する日本初のビジネスモデル。

## Genzo AI の誕生と組織体制

島津製作所  
90% 出資  
高確な実務  
ノウハウ



IP Agent  
10% 出資  
300社顧客基礎・  
導入支援力

Genzo AI

2026年4月1日設立、京都市



長澤離一氏（顧問、元キヤノン専読執行役員）  
“プラットフォームの信頼性と実用性を保証”



### 01. 発明発掘・出願自動化

開発費内から発明提案書を自動作成。明細書業生成も対応予定（2026年7月）。



### 02. 高精度な特許翻訳

Gemini活用、用語の揺ちき抑制。日・英・中の高品質翻訳。画面内テキスト対応。



### 03. 審査対応（中間処理）

NotebookLM活用、ハルシネーション抑制。拒絶理由への論理的補正案を約2分で提示。



### 04. 先行技術調査

特定技術の先行文献を過週調査、特許性の有無を判定。



### 05. 侵害予防スクリーニング (FTO)

「Patentfield」遡解、開発費から権利抵牾の有無を全自動評価。



### 06. 契約書レビュー

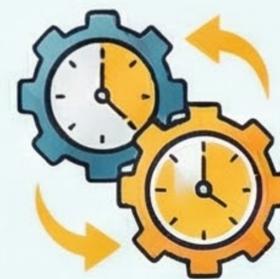
契約書業をドロップで不利な条項の協論・修正業を自動生成。

## 島津製作所内での圧倒的な実績（2025年度）



年間  
**8,000**  
万円超  
コスト削減

従来外開委託していた業務を内製化・自動化



業務工数を  
**50%~90%**  
削減

発明届出業務で50%、他社特許スクリーニングで90%



数ヶ月・数百万円の  
業務を「**2分**」で  
数ヶ月・数百万円

外国拒絶理由通知の分析・対応案作成をAIで短縮

## 知財業務を網羅する6つの機能（モジュール）

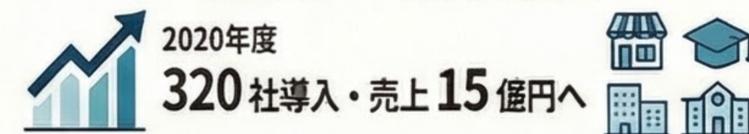
## 信頼を支える技術と「民主化」への戦略

### ハルシネーション抑制の3原則



実移レベルの品質を担保

### 「民主化」への戦略と展望



ID数無制限の定額制（年間100万円～）  
組織全体での知財意識の向上と活用を促進。